

相談援助技術研修2（相談援助職の記録）

「相談援助職がおさえておきたい記録の基礎知識」

日時	令和6年7月10日（水曜日）午後1時30分から午後4時30分まで ※オンライン受講・会場受講とも午後1時開場です	
目的	精神保健福祉業務の相談援助職に必要な記録の目的や記載のポイント等を学び、相談援助に生かす	
対象	特別区・島しょの行政職員、精神保健福祉関係機関職員、医療機関職員、教職員等 * 初任者向け	
定員	オンライン受講	220名（Zoom ウェビナーで配信します）
	会場受講	30名（会場は中部総合精神保健福祉センターです）
講師	プリンシプル・コンサルティング株式会社 プリンシプル職場の心理学研究所 所長 アアライ株式会社代表 取締役 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子氏	
内容	相談援助職としての記録のあり方や書き方、対人援助支援に活用できる記録方法、訴訟や情報開示請求に備えた記録のあり方などについて、演習を交え具体的に学びます。	

< 受講にあたっての留意事項 >

本研修はハイブリッドで開催します。

申込時に、オンライン受講もしくは会場受講を選択してください。申込後は変更できません。

【オンライン受講】

- Zoom ウェビナーで配信します。受講に必要な環境は各自でご準備ください（パソコンなど画面を見ることができ音声を聞くことができる端末及びインターネット環境があること。カメラ、マイクは必要ありません）。

【会場受講】

- 会場は、東京都立中部総合精神保健福祉センター研修室 です。
- 会場受講の申込みは各事業所・所属から1名のみとします。

詳しくは、東京都立中部総合精神保健福祉センターホームページの「研修申込・受講案内」をご覧ください。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/kenshu/index.html>

【主催・問合せ先】

東京都立中部総合精神保健福祉センター 広報援助課広報研修担当 電話 03-3302-7704（直通）